

いの町 紙の博物館

- ▶開館時間：9：00～17：00
- ▶休館日：毎週月曜日(ただし、祝日は開館し翌日休館)
- ▶電話番号：893-0886
- ▶入館料：大人500円 / 小中高生100円
65歳以上250円(要年齢証明)



- *販売コーナーは、入場無料です。
- *購入日から1年間、何度でも入場できるお得な年間観覧券(1,500円)販売中!

◆紙わぎ大賞入賞作品展in紙博 6月27日(水)まで

静岡県特種東海製紙株式会社が主催の「第27回紙わぎ大賞」巡回展として、入賞・入選作品約80点を展示します。



◆第27回モラード会展～時代の流れ・自由創作～ 6月17日(日)まで

モラード会会員による油彩画、水彩画、和紙絵、写真など約300点を展示します。

◆「復活!ら・ら・ら2018」ー作業所ら・ら・ら第11回グループ展 6月8日(金)～6月27日(水)

作業所ら・ら・らの皆さんがアートを通じて地域との交流を図ろうと、立体や平面作品など約80点を展示します。

◆第21回2018高知家の大模型展示会 7月1日(日)～7月8日(日)

土佐模型クラブ、さぬきモデラーズなど県内外の模型愛好家たちが制作したさまざまなジャンルの模型約500点を展示します。

「土佐和紙に描く パステル画教室」

※事前申込が必要です。

パステルを使って土佐和紙に絵を描きます。モチーフは、静物・草花などを組み合わせて、構図を考えます。パステルを用いて、いろいろな色の重なりを発見しながら、自由に、のびのびと描いてみませんか？

- 日時 6月10日(日) 13：30～(2時間程度) ■参加費 500円(入館料込)
- 講師 美術作家 川村 愛氏
- 申込先 いの町紙の博物館 ☎ 893-0886 / mail : tosawasi@bronze.ocn.ne.jp (氏名・連絡先を要記載)

◆◆ 作品募集 <<第33回紙とあそぼう作品展>> ◆◆

紙を材料に制作した作品を大募集!

- 搬入期間 6月22日(金)～7月1日(日) 9：00～16：00
- 搬入場所 紙の博物館 3階

小学生以下の部(園児～小学生)、中学生以上の部(中学生～大学生)があり、個人・団体を問わずご応募いただけます。全応募作品を紙の博物館に展示します。たくさんのご応募をお待ちしています。

ギャラリー・コパ

▶電話番号：893-1200

▶開館時間：9：00～17：00

◇ビーズアクセサリ&手づくり展

5月31日(木)～6月6日(水)

趣味で作った、普段さりげなく身に着けられるビーズアクセサリ、リネン、綿素材の服や小物などを展示します。

◇浪漫堂 初夏の創作和布展

6月8日(金)13：00～13日(水)

和布の洋服、小物、アクセサリ、和雑貨、手づくり材料、古布、きもの、ハギレなど約300点以上を展示します。

◇山アジサイと山野草展

6月21日(木)～30日(土)

山アジサイ、山野草、蘭科植物、シダ、合計150鉢を展示します。

土佐紙業界の恩人・吉井源太を知る

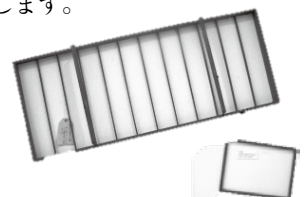


吉井源太は幕末に伊野で生まれ、明治の終わりに亡くなるまで、製紙家として活躍した人物です。源太の家は、代々続く御用紙漉きという位のある紙すきで、土佐藩が使う紙や幕府へ献上する紙を漉いていました。源太はそうした技術を元に、和紙の近代化に全生涯を捧げ様々な功績を残しています。ここでは、10月6日から始まる企画展開催を記念して彼の功績を紹介します。

源太さん5つの大仕事！

その① 紙すき道具を改良し、紙を量産

幕末に江戸で使われる紙の量を調べて、もっと紙が必要になると予想した源太さん。それまでの紙すき道具を大きくして、つり上げて重さを支えるよう改良しました。その結果、一度に1～2枚すいていた紙を、品質は落とさずに大きな紙で6枚、小さな紙なら8枚すけるようになったのです。



▲「土佐の大桁」
下の小さいものは源太が改良する以前のもの。

吉井源太没後110年 記念企画展 2018年10月6日(土)～11月11日(日)
「紙の交流・源太と日本の和紙産地ー明治から始まった絆を、新たに結ぶー」

